

国史跡春日山城跡の災害復旧工事の完了について

1 概要

【春日山城跡災害復旧工事】

工 期) 平成29年4月26日～平成30年1月23日

請負業者) 上新開発株式会社

契約額) 104,258,880円 (当初額 90,288,000円)

(財源内訳) 国 補助: 72,980,000円

市 債: 28,000,000円

一般財源: 3,278,880円

大雨で洗掘された市道春日山城上正善寺線の復旧については、道路課で対応。

2 経過

平成29年)

4月 3日 平成29年度国庫補助金交付決定 (補助率70%)

6月12日 本工事開始

7月 1日 新たな崩落土の流出と法面途中からの湧水の発生により増工及び一部工法等変更。

9月 1日 文化庁記念物課文化財調査官の現地指導

12月22日 現地工事完了

平成30年)

1月30日 工事完了検査

4月 4日 文化財調査審議会委員による現地指導

4月12日 舗装工事完了 (道路課)

4月14日 通行止め解除

3 今後の予定

5月22日 文化庁記念物課文化財調査官の現地視察

※土木・地質・災害復興科学の有識者による災害復旧の検討委員 (上越市文化財調査審議会臨時委員) から引き続き指導を受けながら、経過観察を行う。



災害直後 平成 28 年 7 月 27 日



現地工事完了後 平成 29 年 12 月 23 日

歳出科目 (P326~P327)	10款5項6目	文化財保存調査費
------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
文化財保存整備費	7,355	7,093	262

主な財源		主な経費	
諸収入	286	報酬	2,084
一般財源	7,069	委託料	1,182
		共済費	213
		旅費	435
		負担金補助及び交付金	2,587

市内に所在する文化財の保存・活用を図り、市民が郷土の歴史や文化に誇りや愛着を持てるように努める。

【目的】

県内最多を誇る 367 件の指定文化財の適切な保存・伝承に努めるとともに、計画的に新たな指定を行うことにより適切な保護を図り、活用を促進する。

【実施内容】

- ・文化財調査審議会の開催
- ・未指定文化財の調査
- ・県指定天然記念物「坊金の大スギ」の樹勢回復への補助
- ・北前船に関する文化財の調査・展示・講演会等の開催
- ・指定文化財管理、保存団体への補助
- ・市所有史跡の草刈り、遊歩道整備等の実施

(参考)

- ・文化財指定件数 367 件

平成 30 年 1 月末現在

種別	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡・典籍	古文書	考古資料	歴史資料	無形文化財	民俗文化財	史跡・名勝	天然記念物	計
国	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	4	1	11
県	1	2	8	7	6	0	5	1	0	1	4	3	38
市	10	16	58	11	13	30	50	39	0	38	26	27	318
計	12	18	70	18	19	30	55	40	0	40	34	31	367

- ・国登録有形文化財（建造物）件数 26 件

歳出科目 (P 328~P 329)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
--------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日山城保存管理事業	7,553	7,411	142

主な財源		主な経費	
一般財源	7,553	報酬	96
		備用費	770
		役員費	65
		委託料	6,065
		使用料及び賃借料	455
		原材料費	102

【目的】

上越市が全国に誇る春日山城跡を生きた歴史資料として体感できるよう、春日山城史跡広場を始め春日山城跡ものがたり館、大手道等の適切な維持・管理と保全を行う。

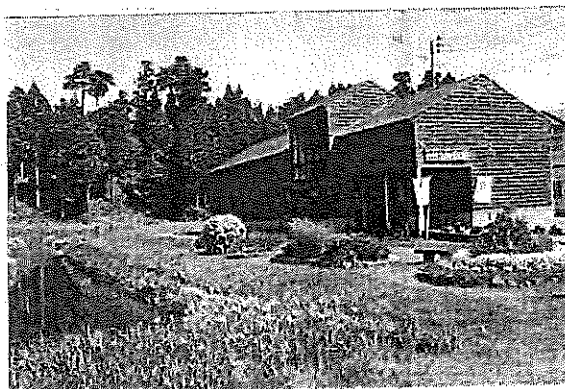
【30 年度目標】

- ・国指定史跡春日山城跡のガイダンス施設として、広大な城跡の価値や魅力をわかりやすく紹介するとともに、広く発信する。
- ・春日山城跡ものがたり館入館者数：22,000 人
(平成 27 年度：22,478 人、平成 28 年度 22,233 人、平成 29 年度見込み：24,000 人)

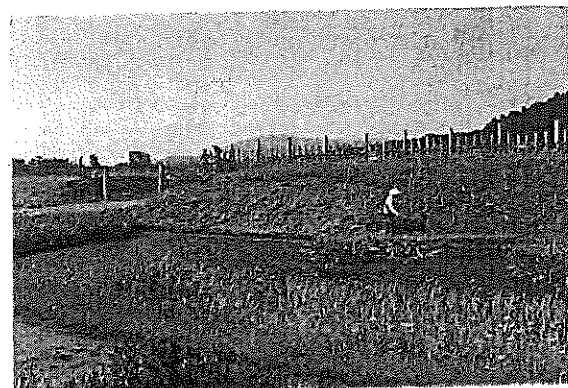
【実施内容】

史跡指定地内の市有地の草刈りや修繕、春日山城史跡広場や春日山城跡ものがたり館の管理等を地元管理組合と協働で実施するとともに、地域学習の教材として活用を図る。

- ・春日山城跡の維持管理業務委託
委託先：春日山城史跡広場管理組合
(地元 5 町内〔大豆、春日、中門前、谷愛宕、春日野〕で組織)
内 容：史跡保存用地の草刈り、修繕 (広場内の腐食した杭・木柵等の交換)、施設管理 (受付・案内・清掃業務)、大手道の維持管理等
- ・カキツバタ (大手道入口、監物堀) の維持管理
- ・地元小中学校と連携を図り、総合的な学習の時間等での活用の推進
- ・「日本 100 名城」スタンプラリーの実施



【ものがたり館とカキツバタ】



【土塁の草刈り】

歳出科目 (P328~P329)	10款5項6目	文化財保存調査費
------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日山城跡5か年整備事業	5,093	5,535	△442

主な財源		主な経費	
寄附金	5	報酬	440
一般財源	5,088	旅費	83
		需用費	71
		委託料	3,030
		工事請負費	1,394
		原材料費	45

【目的】

上越市が全国に誇る国指定史跡春日山城跡を、風雨などによる損傷から守り、約100年前の山城の景観に復元して後世に継承するとともに、地域学習の教材として利活用を図る。

【実施内容】

- ・平成29年度災害復旧工事に携わった土木・地質の専門家による工事後の経過観察とあわせて、今後の史跡保全の在り方について検討する。
- ・災害復旧後の点検・検討を踏まえた、一部遊歩道等の修繕
- ・本丸跡周辺、三の丸跡等の低木伐採及び下草刈りの実施
- ・市民団体や地元小中学校との協働による草刈りや松葉かきなどの美化活動及び「土の一袋運動」等の保護活動の継続
- ・散策会「まいぶん春日山講座」(年3回)の開催
- ・史跡保全や保護活動を継続することで、謙信公の顕彰と次世代への伝承を図る。



【松葉かき】



【まいぶん春日山講座】

歳出科目 (P328~P329)	10款5項6目	文化財保存調査費
------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市内遺跡発掘調査事業	7,291	6,468	823

主な財源		主な経費	
国庫支出金	3,575	報酬	3,115
県支出金	872	需用費	1,004
一般財源	2,844	共済費	223
		旅費	140
		委託料	231
		使用料及び賃借料	2,578

【目的】

各種開発事業から埋蔵文化財を守るため、発掘調査を行い、開発事業との円滑な調整を図る。

【実施内容】

(1) 試掘調査・確認調査 【約94ha(工事計画面積)】

調査対象地：県営ほ場整備事業地内(高野地区・今池地区・岡野町地区など)
上越魚沼地域振興快速道路建設予定地内・送電線鉄塔建設予定地内など

(2) 本発掘調査 【約4,000㎡】

調査対象地：県営ほ場整備事業地内(高野地区・木島地区)

(3) 発掘調査報告書作成

①県営ほ場整備事業地内発掘調査報告書

(三和中部第1地区 上水尻遺跡 ※平成29年度調査)

②県営ほ場整備事業地内発掘調査報告書

(木島地区 台の上遺跡 ※平成29年度調査)

③市内遺跡発掘調査概要報告書

※上記、県営ほ場整備事業に係る本発掘調査(2)及び報告書作成(3)①②に要する経費のうち、「農家負担分」を本事業で支出する。

(参考)

- ・試掘調査：地表面の観察等からでは判断できない場合に行う、埋蔵文化財の有無を確認するための部分的な発掘調査
- ・確認調査：埋蔵文化財包蔵地の範囲・性格・内容等の概要までを把握するための部分的な発掘調査
- ・本発掘調査：開発などで埋蔵文化財が失われる範囲について、その内容など詳細を記録保存するための調査

歳出科目 (P328~P329)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ほ場整備等遺跡発掘調査事業	18,966	16,724	2,242

主な財源		主な経費	
県支出金	18,500	報酬	11,710
一般財源	466	共済費	245
		旅費	469
		需用費	2,016
		委託料	2,838
		使用料及び賃借料	1,680

【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業から埋蔵文化財を保護するため、当該地の発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録を保存する。

【実施内容】

- (1) 本発掘調査 【約 4,000 m²】
調査対象地：県営ほ場整備事業地内（高野地区・木島地区）
- (2) 発掘調査報告書作成
 - ① 県営ほ場整備事業地内発掘調査報告書
(三和中部第1地区 上水尻遺跡 ※平成29年度調査)
 - ② 県営ほ場整備事業地内発掘調査報告書
(木島地区 台の上遺跡 ※平成29年度調査)

※上記に要する経費のうち、「農家負担分」を除いた経費について本事業で支出する。



上水尻遺跡現地見学会風景 (三和中部第1地区)



台の上遺跡調査風景 (木島地区)

歳出科目 (P328~P329)	10款5項6目	文化財保存調査費
------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
埋蔵文化財センター管理運営費	8,912	9,005	△93

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	3	報酬	2,737
一般財源	8,909	共済費	197
		需用費	3,360
		役務費	189
		委託料	1,580
		使用料及び賃借料	733

【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究・保存管理・普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館などを結ぶ歴史巡りのルートとして利活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

【30年度目標】

- ・歴史博物館のリニューアルに合わせ、通史展示（主に先史時代～戦国時代）を行うとともに、謙信公ゆかりの文化財や春日山城跡に関する資料の展示を充実させる。
- ・入館者数：38,000人
（平成27年度：39,590人、平成28年度42,061人、平成29年度見込み：34,000人）

【実施内容】

(1) 調査研究

- ・貴重な埋蔵文化財を後世に伝えるため、発掘調査を行う。
- ・出土品等に関する情報収集や資料調査などを行う。
- ・発掘調査の成果を報告書等にまとめ、公表する。

(2) 保存管理

- ・発掘調査で収集した出土品等を整理し、適切な環境の下に保存管理を行う。
- ・収蔵資料を活用できるよう一貫した管理を行う。

(3) 普及公開

- ・通史展示の実施、展示資料の充実を図る。
- ・各地の博物館、資料館等に資料を貸出し、広く市外での公開を図る。
- ・図書等の開架を行い、発掘調査報告書や各種関連資料を公開する。
- ・学校教育との連携を図り、小中学生の利用を促進するほか、生涯学習の学びの場として活用を図る。

(4) 維持管理

施設の適切な維持管理

歳出科目 (P 328～P 331)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
--------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
「弥生のムラ」コミュニティパーク事業	31,541	30,895	646

主な財源		主な経費	
国庫支出金	7,752	報酬	14,201
諸収入	132	共済費	1,252
一般財源	23,657	旅費	902
		需用費	2,918
		委託料	9,367
		使用料及び賃借料	2,530

【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の保存・活用を図る。

【30年度目標】

- ・国指定史跡釜蓋遺跡のガイダンス施設として、吹上遺跡・釜蓋遺跡の価値や魅力をわかりやすく紹介するとともに、広く発信する。
- ・釜蓋遺跡ガイダンス入館者数：23,500人
(平成27年度：28,500人、平成28年度：23,207人、平成29年度見込み：23,000人)

【実施内容】

(1) 発掘調査

- ・釜蓋遺跡(2号環濠内)の発掘調査(約800㎡)
- ・考古学専攻の大学生受入事業の継続
- ・総括報告書刊行に向けた整理作業の実施
- ・調査指導委員会の開催
- ・現地見学会や出土資料の紹介など調査成果の公開

(2) 活用

- ・小学校の総合的な学習の時間や歴史学習の学びの場として発掘調査体験や勾玉づくり、土器・土笛づくりなど体験活動の実施
- ・遺跡応援団との連携による体験活動や「吹上・釜蓋遺跡春まつり」などのイベントの実施
- ・遺跡の魅力を発信する「釜蓋遺跡ガイダンス定期講座」の継続実施
- ・JR東日本「駅からハイキング」などの事業との連携

(3) 維持管理

- ・吹上遺跡及び釜蓋遺跡の草刈りなど史跡の適切な維持管理
- ・釜蓋遺跡ガイダンスの適切な維持管理

北前船ゆかりの文化財関連事業

1 日本遺産追加登録に向けた動向

現在上越市では、産業立地課が窓口となり、平成 29 年 4 月に日本海側 11 自治体の北前船寄港地により認定された日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」他 27 自治体とともに、追加登録の申請を検討中。

上越市教育委員会では、市動向に合わせ、現存する北前船ゆかりの文化財を把握して、その中から文化財の指定も視野に入れて調査を進めることで、平成 29 年 8 月開催の文化財調査審議会において了解を得た。

○既登録の 11 自治体直江津まなびの交流館

北海道（函館市・松前町）、青森県（鯨ヶ沢町・深浦町）、秋田県（秋田市）
山形県（酒田市）、新潟県（新潟市、長岡市）、石川県（加賀市）
福井県（敦賀市、南越前町）

○追加登録に向けたスケジュール

◎平成 29 年 11 月 24 日 追加登録申請自治体決定予定



◎平成 29 年 2 月頃 文化庁への追加登録申請提出



◎平成 30 年 4 月末 日本遺産認定発表

2 文化行政課としての北前船に関わる取組み（3 年計画）

「発掘」…北前船ゆかりの文化財を把握し、後世に残す取組。

「発信」…ゆかりの文化財の価値や魅力を市民に伝え、共有する。

「交流」…北前船が各地の寄港地とネットワークを結び躍動する日本海を往来した様に、同じストーリーで結ばれた自治体との地域間連携

取組み実施にあたっては、下記のとおり関係機関等と連携を図りながら進める。

◎連携・社会教育課の公民館講座で北前船関連講座を実施するなどの連携。

- ・産業立地課・観光振興課・文化振興課等、関係各課との連携（PR 活動等）。
- ・直江津の歴史文化を深く掘り下げる市民団体、研究者、出版社等との連携。

◎ 3 年 計 画

		H30	H31	H32
発掘	ゆかりの文化財の調査			
	文化財指定			
発信交流	広報上越	年 5 回 シ リ ー ズ (5 ・ 7 ・ 9 ・ 11 ・ 1 月)		
	展示	パネル展示 「船絵馬等」 「寄港地」 (in 直江津学びの交流館)		展示 「北前船展」 (総合博物館)
	講演会	座談会) 上越市と北前船を掘り下げる。	座談会) 県内寄港地との交流 ※新潟、佐渡、長岡、糸魚川等	北前船寄港地フォーラム 「東西日本の中心～北前船の交流」 ※講師検討 (南・北から)
	探訪ツアー	公民館活動、産業立地課、観光振興課等と連携		
	講座等			
学校教育と連携				

【H30 年度 予算】

8 節 報償費 12,000 円

9 節 費用弁償：講師旅費 (4 km + 5 km) × 往復 × 22 円 = 396 円

9 節 普通旅費：北前船寄港地フォーラム (新潟)

参加旅費 5,500 円 × 2 回 = 11,000 円

11 節 消耗品費：17,269 円 (展示用ハレパネ等)

印刷製本費：117,000 円 (展示用写真印刷等)

合計 157,665 円